

記入説明

霧島市温泉を利用した発電事業 に関する条例に基づく事業計画

事業者名	※ 事業者連合体又は複数企業が共同して事業を行う場合には、全ての事業者名を記入。
事業地区	霧島市 町 地区 地域
事業名	※ 一般的なものではなく、事業を特定できるような呼称を記入。
提出年月日	年 月 日
調査段階の同意	※ 調査段階の同意を得ている場合は、同意の年月日を記入。
掘削段階の同意	※ 掘削段階の同意を得ている場合は、同意の年月日を記入。既存源泉を利用した発電設備設置段階からの事業計画であれば記入不要。

進捗段階	段階	種別
	発電設備設置段階	※ 既存源泉利用又は、掘削を伴う源泉利用

- ※は記載内容の説明であり、提出資料には記載しない。
- 事業計画の項目により記入できないものについては、その理由を記入すること。
- 事業計画に記載すべき項目がない場合は、項目を追加しても構わない。
- ページ番号は「発電事業者の概要」を1ページとし、以降を通し番号とすること。

霧島市長 殿

(発電事業者)

住所：

氏名：

印

1 発電事業者の概要	
名称 (法人名)	※ 法人名又は個人名を記入。
代表者名	※ 法人の代表者名を記入。
所在地	※ 法人の場合は所在地、個人の場合は住所を記入。
資本金	※ 法人の場合は資本金、個人の場合は記入不要。
財務状況	※ 法人の場合は直近3年分の決算書を添付し、その旨を記入。個人の場合は、資産状況及び所得が分かるものを添付し、その旨を記入。
従業員数	※ 法人の従業員数を記入。個人の場合は記入不要。
設立年月日	※ 法人登記簿上の設立年月日を記入。個人の場合は、現住所の居住開始日を記入。
主な事業内容	
※ 法人の場合は主な事業内容を記入。個人の場合は職業を記入。	
組織概要	
※ 法人の会社組織概要を記載し、当該事業の担当部署を太枠で囲む。別途、組織概要が分かる資料がある場合は、「別添資料参照」と記入。	
地熱・温泉資源を使った事業の実績	
※ 発電事業者が事業主体者として直接関わった事業を記入。別途、実施事業が分かる資料がある場合は、「別添資料参照」と記入。	

2 事業計画等			
(1) 本計画に至った経緯			
<p>※ 地熱発電事業を計画するに至った経緯を記入。</p>			
(2) 事業全般に関する情報			
発電事業 予定地	<p>※ 発電事業予定地（発電所、その他付帯設備）の地番を記入。 ※ 位置図（縮尺 2,500 分の 1 の霧島市基本図等を使用し、A4 サイズに抽出）を添付し、予定地地点を明示。</p>		
予定地の 地権者情報	<p>※ 予定地の地権者情報を記載するとともに、自己所有でない場合には、購入又は賃貸借等の別を記入し、地権者承諾の状況等を記入。</p>		
予 定 事 業 期 間	<p style="text-align: center;">年 月 ～ 年 月</p> <p>※ 発電設備の設置工事から運転開始にかかる予定期間を記入。 ※ 別途作成するスケジュールと整合を図ること。</p>		
事 業 実 施 体	事業者名	所在地又は住所	役割
	<p>※ 地熱発電事業及び発電設備設置にかかる関連会社等を記入し、その役割を記入。 （発電事業者、O&M、EPC、コンサルティング業務など） また、事業実施予定体制の役割が分かる体制図を別途作成。</p>		
指 定 地 域	<p>※ 発電事業予定地が、法令等に基づく指定地域に含まれる場合、指定地域名を記入。（例、国立公園普通地域、地すべり防止区域、保安林、水源かん養保安林、砂防指定地など）</p>		

<p>他の手続き</p>	<p>※ 法令・条例等に基づく許認可手続き等をすべて記入し、それぞれの進捗状況についても記入。</p>
<p>助成制度 利用状況</p>	<p>※ 国、県、各種団体等の助成制度を活用する場合には、その名称を全て記入し、進捗状況についても記入。</p>
<p>(3) 温泉資源賦存状況に関する情報</p>	
<p>調査の 実施結果</p>	<p>※ 噴出試験、その他調査などの内容及び結果を記入し、発電事業実施にあたっての留意点を記入。 ※ 噴出試験等の様子を撮影した写真を添付。</p>
<p>(4) 使用源泉に関する情報</p>	
<p>源泉箇所 (掘削位置)</p>	<p>※ 源泉の名称等を記入。 ※ 複数の源泉を使用する場合は、全ての源泉について記入。</p>
<p>掘削深度</p>	<p>※ 事業に使用する全ての生産井及び還元井の深度をそれぞれ記入。</p>

<p>口径及びケーシングプログラム</p>	<p>※ 掘削口径及びケーシングプログラム（セメンチングの実施区間を含む。）の概要説明を記入し、図面を添付。</p>	
<p>坑 跡</p>	<p>※ 垂直掘りについては「垂直掘り」と記入、それ以外については概要説明を記入の上、図面を添付。 ※ 掘削申請者以外の所在地に坑跡が及ぶ場合は、図面においてその区間を明示。</p>	
<p>発電に用いる流体</p>	<p>種 類</p>	<p>次のうち該当する番号に○をつける。 1 温泉水 2 蒸 気 3 二相流体</p>
	<p>流 量</p>	<p>熱水量 t/h ※ 時間単位又は分単位で記入。 蒸気量 t/h</p>
	<p>温 度</p>	<p>熱水温度 °C ※ 流体における地上での温度を記入 蒸気温度 °C</p>
	<p>流量の安定性</p>	<p>※ 流量の安定性を示すデータ（噴出試験時の時系列データ等）を添付。</p>
<p>減衰対応</p>	<p>※ 流量の減少や温度の低下により発電量が維持できなくなった場合に、どのような対応を行うかについて具体的な対策を記入。</p>	

(5) 発電設備に関する情報		
用途区分	次のうち該当する番号に○をつける。 1 売電用 2 自家消費用	
発電方式	次のうち該当する番号に○をつけ、必要事項を記入する。 1 バイナリー(ランキンサイクル) → 媒体() 2 バイナリー(カリーナサイクル) 3 フラッシュ(復水式) 4 フラッシュ(背圧式) 5 その他()	
発電設備	メーカー名	
	製品名(型式)	※ 使用する発電機の内容を記入し、カタログ等を添付。
	発電機出力(定格)	
	運転時発電端出力	※ 予定する発電端出力を記入。
	運転時送電端出力	※ 発電所から送電する出力を記入。
バイナリー発電媒体冷却設備	冷却方式	水冷 ・ 空冷 ・ その他()
	冷却水の供給源種別(水冷のみ)	河川 ・ 湧水 ・ 井戸 ・ その他()
	取水位置(所在地)	※ 取水する井戸等の所在地や河川の名称を記入し、位置を示す図面を添付。位置は、発電所等の平面図に付記することも可。
	取水の許可等	※ 取水する施設等の所有者、管理者又は権利者から使用許可や同意が必要な場合は、その有無を記入。
	※バイナリー発電方式以外の場合は記入不要	使用水の流量

騒音対策	※ 発電設備の運転に伴い、発生が予想される騒音値や騒音対策について記入。
温泉排水の処理方法	※ 発電に使用する熱水等（フラッシュ復水式の冷却排水含む。）の排水の処理方法について記入。
その他の設備の内容	※ 発電設備に関する特記事項について記入。

※ 使用源泉、発電設備、配管、侵入防止柵等の配置を明記した平面図、設備の高さや外壁の塗装色等を明記した立面図など、発電所の詳細が分かる図面を添付。

(6) 地域住民や関係者等に対する説明の状況に関する情報

対象者	種別	※ 発電設備設置段階の事業計画に関する説明を行った地区自治公民館、自治会、団体等について、その概要を記入。 ※ 個別の説明状況については、「地熱発電事業に関する地域住民等説明状況報告書（第1号様式）」を添付。
	人数	
方法		
時期		
内容		

(7) 周辺源泉等に関する情報	
周辺源泉等の把握状況	<p>※ 周辺源泉や湧水の情報把握し、その内容（位置、所有者、使用者等）を記入。事業に使用する源泉の概ね300m以内の源泉等は、図面に位置関係（水平距離）を明示。</p>
(8) モニタリングに関する計画	
モニタリングの種類	<p>※ 実施するモニタリングを全て記入。 (例) 源泉、環境をモニタリングする場合 (8) - 1 源泉モニタリング ○地点 (8) - 2 環境モニタリング ○地点 ※ 全てのモニタリング地点が分かる図面を添付。図面には、区分（源泉、湧水、自然噴気、河川、環境等の別）、地点名称を付記し、凡例を明記。なお、(6)の図面に付記することも可。</p>
(8) - 1 源泉モニタリング ※モニタリングの種類に対応すること	
モニタリングの目的	<p>※ 本モニタリングを実施する目的を記入。</p>
モニタリング地点	<p>※ モニタリングする源泉や湧水等の名称及び事業に使用する源泉からの水平距離を記入し、対象地点とした理由又は根拠を記入。 ※ (7)の図面には別に位置関係の詳細や説明を明示する必要がある場合は、別途図面を作成。</p>
モニタリング実施予定期間	<p>※ モニタリングの実施期間を記入。</p>

測定項目及び頻度	※ モニタリングで測定する項目及び頻度等を記入。
実施・分析機関	※ モニタリングの実施や分析業務、データ解析を外部委託する場合、その実施・分析機関等を記入。
モニタリングの実施に必要な法的手続き	※ (2) 事業全般に関する情報の他の手続きに記載したものの内、モニタリングに関連する法的手続きを記入し、その手続きの進捗状況も記入。
関係者の許可等の状況	※ 源泉や湧水等をモニタリングする場合の源泉所有者・使用者、環境をモニタリングする場合の河川管理者、土地・家屋の所有者等の関係者からの許可や同意等の有無を記入。得られていない場合には、その理由と許可や同意等の見込みを記入。
(8) - 2 環境モニタリング ※モニタリングの種類に対応すること	
各項目	※ (8) - 1 と同様の項目について環境モニタリングに関する内容を記入。
(9) 温泉や自然環境等への影響に関する対応	
対応策	※ 影響が出たと考えられる場合の対応方法を記入。 (例：周辺源泉等に影響を及ぼしていることが確認された場合は、直ちに操業を中止し、その原因を明らかにした上で、影響を及ぼさない措置が図られるまで事業を再開しない。また、行政機関や地域関係者等から実施しているモニタリングのデータ提示や説明の要請があった場合は適切に応じる。)
(10) 発電後の熱水又は蒸気の利用に関する計画	
二次利用	※ 発電に使用した熱水等を二次利用（他の用途に使用）する場合には、その具体的内容を記入。